

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	家庭系の燃やせるごみ搬入量 (収集量+自己搬入量) [基本計画目標値]	t	14,071 (15,801)	13,866 (16,082)	13,647	13,647	13,647
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	1世帯当たり可燃物ごみ量(搬入量) (家庭系の燃やせるごみ搬入量÷世帯数)	kg	381 (430)	429 (430)	424	424	424
②		目標値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	44,012	43,899	51,794	52,486	82,600	82,600	357,391
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	44,012	43,899	51,794	52,486	82,600	82,600	357,391
一般財源							0
人件費	1,134	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	6,588
職員(人)	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.90人
時間外勤務(h)							0h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	45,146	44,990	52,885	53,577	83,691	83,691	363,979

妥当性 (市の関与)	排出者責任の徹底、ごみ減量化の意識の向上及びごみを多量に排出する者と少量しか排出しない者との負担の公平化からも妥当である。 ごみ処理は市に義務付けられている。
有効性 (施策貢献度)	市民の分別排出の協力により、一世帯当たりのごみ排出量はほぼ横ばいである。
効率性 (コスト)	指定ごみ袋の製造は入札により発注している。 指定袋の代金については、現時点では見直しの予定なし。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--